

かべ新聞

第 137 号

2020 年
8 月 31 日

J R 東海労働組合
新幹線地方本部
東京車両所分会

中央労働委員会へ陳述書提出！

**診断書の提出を強要された松井組合員が、当時の交検・根岸科長の審問での証言を求め陳述書を提出しました！
管理者の対応が一致していなかった事実を審問において明らかにします！**

『年休で休むのに診断書の提出は必要ない！』として救済を求めた東京都労働委員会の命令は、私たちの全面勝利でした。

2019 年 9 月、東京都労働委員会より『組合員が私傷病を理由として年休を取得する際の診断書の取り扱いについて団体交渉の申し入れがあった場合には、これまでの解説書等の内容とは異なる会社の基本協約や就業規則等の解釈について、その異なる理由を、根拠資料などを示して具体的に説明するなどして、速やかにこれに応じなければならない。』との命令が出されました。

この命令を不服とした会社は、中央労働委員会に申立てたため、現在は中央労働委員会で審議中です。

会社は、「以前からも年休は欠勤であると定義している。」「現場管理者にも徹底されていた。」と主張しています。しかし、松井組合員の「年休で休むのに、診断書の提出は必要ないのではないか？」との疑問に当時の交検・根岸科長は即答できなかったのです。さらに複数の管理者に聞いても回答が様々で一致していませんでした。「年休は欠勤であるとの定義が現場管理者にも徹底されていた!？」との主張なら、今度こそ**元根岸科長は中労委の審問の場において証言すべきです！**

私たちは、この主張がデタラメで、現場管理者の言動が混乱していた事実を中央労働委員会でも証明します！